

「高速シーケンスが拓く次世代研究の世界」

バイオサイエンス研究科 大講義室

7月14日(水)

- 12:00-13:00 受付
- 13:00-13:15 深尾陽一朗(開会の挨拶及び植物グローバル紹介)
- 13:15-14:00 大島拓(NAIST)
「ChIPによるバクテリア間のDNA結合たんぱく質結合領域に関する比較解析」
- 14:00-14:45 重信秀治(基礎生物学研究所)
「Symbiosis Genomics」
- 14:45-15:30 布施直之(京都大学)
「ゲノムから解読するショウジョウバエの環境適応メカニズム」
- 15:30-15:50 coffee break
- 15:50-16:35 白髭克彦(東京大学)
「コーヒーシンのアセチル化とその意義」
- 16:35-17:20 鈴木 穰(東京大学)
「次世代シーケンサーを用いたトランスクリプトーム解析」
- 17:20-18:05 倉田哲也(NAIST)
「植物分化細胞からの幹細胞誘導系における転写ークロマチンネットワーク」
- 18:30-20:30 情報交換会(会場:研修ホール)

7月15日(木)

- 9:00-9:45 矢野昌裕(農業生物資源研究所)
「ゲノミクスを背景にした次世代イネ育種への挑戦」
- 9:45-10:30 河合純(理化学研究所)
「次世代シーケンサーの進化と活用」
- 10:30-10:45 coffee break
- 10:45-11:30 西山智明(金沢大学)
「高速シーケンサーを用いたトランスクリプトーム・ChIP-seq解析の統計学」
- 11:30-12:15 伊藤武彦(東京工業大学)
「新型シーケンサーを用いたde novo配列決定およびChIP-seqデータ解析の事例紹介」

12:15-12:45 パネルディスカッション

12:45-12:55 倉田哲也(閉会の挨拶)